

平成25年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物

「学生がメリットを感じられる 情報リテラシー教育」

テーマ： 指導内容 / 6 班

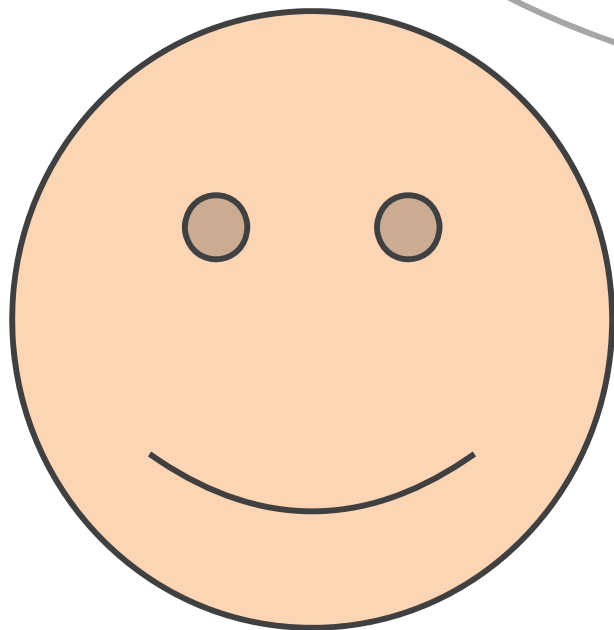
発表日：2013/10/18
会場：大阪大学

問題

学生が情報リテラシーの
必要性を感じていない！！

なぜ必要性を
感じていないのか？

- 専門分野と関係ない
- 楽しくない
- もう知ってる(つもり)
- 面倒くさい
- Google、Wikipediaでいい



学生が情報リテラシー教育をうけるメリット

- ・新入生がレポートをかける
- ・参考文献を探せる
- ・自主的に資料を探せる
- ・場所としての図書館の活用
- ・情報の取捨選択・差別化ができる
(情報の概念についての知識)
- ・効率よく学べる
- ・社会生活で役に立つ
- ・就職活動で役に立つ

目 標

メリットをわかってもらって
日々の生活・学習に役立てる
(頭で、経験で)

メリットを感じさせる工夫の具体例

- ・アクティブラーニングを取り入れる
- ・学習成果を出す
- ・フィードバックをもらう
- ・教員にヒントをもらって授業につながる課題設定
- ・「わからない」ところから始める
- ・使う教材をある程度絞る
(ヒントを与える)
- ・発表でほかのグループの調べ方を知る

カリキュラム(仮)

1年生

図書館の使い方 **※必須**

レポートの書き方 **※必須**

(構成、字数、参考文献の見方、資料の概念など...)

2年生・3年生

パックで提供(ゼミ単位や個人での申し込みも可)

4年生

卒論向け

希望者・個別対応

2,3年生向けの講習会を出てもらう

カリキュラム(仮)

2年生・3年生

パックで提供(ゼミ単位や個人での申し込みも可
半オーダーメイドの講習
(課題と使うツールをセットで提案など)

課題例)「〇〇関連の本を読んで、レポートにしてね！」
事件に関連する判例についてレポートを書く
就活に関連する会社情報を調べておきたいなど

グループワーク

グループごとに個別の課題を与え調査する
→調査過程をプレゼン

早く調べられる方法、情報の質の判断、
学生同士の相互評価、調査方法についてのアドバイス

ご清聴ありがとうございました。